

平成二十九年 度

神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題

共通選抜 定時制の課程

Ⅱ 国 語

注 意 事 項

- 1 開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 問題は **問四** までであり、1ページから13ページに印刷されています。
- 3 答えは、解答用紙の決められた欄に、記入またはマークしなさい。
- 4 数字や文字などを記述して解答する場合は、解答欄からはみ出さないように、はつきり書き入れなさい。
- 5 マークシート方式により解答する場合は、その番号の○の中を塗りつぶしなさい。
- 6 解答用紙にマス目(例：

)がある場合は、句読点などもそれぞれ一字と数え、必ず一マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマス目には、文字と句読点などを一緒に置かず、句読点などは次の行の最初のマス目に書き入れなさい。
- 7 終了の合図があったら、すぐに解答をやめなさい。

受 検 番 号

番

問一 次の問いに答えなさい。

(ア) 次の1～4の各文中の——線をつけた漢字の読み方を、ひらがなを使って現代かなづかいで書きなさい。

- 1 生徒会役員を推薦する。
- 2 議会を傍聴するための手続きをする。
- 3 抽象的な概念を理解する。
- 4 乾いた大地を雨が潤す。

(イ) 次のa～dの各文中の——線をつけたカタカナを漢字で表したとき、その漢字と同じ漢字が使われている熟語をそれぞれ下から一つずつ選び、その番号を答えなさい。

- | | | | | | | | | |
|---|-------------------|--------|---|----|---|----|---|----|
| a | 友人を夕食にシヨウタイする。 | (1) 隊形 | 2 | 対策 | 3 | 体育 | 4 | 待機 |
| b | 道路をカクチヨウする。 | (1) 干潮 | 2 | 出張 | 3 | 手帳 | 4 | 山頂 |
| c | 図書館の利用者名簿にトウロクする。 | (1) 投書 | 2 | 党派 | 3 | 登場 | 4 | 当選 |
| d | 人によって性格はコトなる。 | (1) 異例 | 2 | 移転 | 3 | 居間 | 4 | 委任 |

(ウ) 次の各文の□にはすべて同じ漢字一字が入る。その漢字として最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

今日は日差しが□いようだ。 思わぬ苦戦を□いられる。
事前の説明もなく□引に話を進める。 工作に□力な接着剤を使う。

- | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 暑 | 2 | 寒 | 3 | 強 | 4 | 弱 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

(エ) 次の文中の□に入れる敬語表現として誤りのあるものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

お客様からご意見を□。

- | | | | |
|---|--------|---|------|
| 1 | お聞きになる | 2 | いただく |
| 3 | 承る | 4 | 伺う |

(オ) 次の文章中の□に入れることわざとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

最後の公式試合が終わった後、先輩たちが部室に集まり、何かをしているようだった。翌日、練習の前に部室に入ると、先輩たちの私物はなくなり、部屋はきれいになっていた。まさに□だと
思った。

- | | | | |
|---|-----------|---|----------|
| 1 | 水清ければ魚棲まず | 2 | 捕らぬ狸の皮算用 |
| 3 | 竹馬の友 | 4 | 立つ鳥跡を濁さず |

(カ) 次の文章は、ある古典文学作品について説明したものである。その古典文学作品として最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

「祇園精舎の鐘の音には、諸行無常の響きがある。」という内容で始まる鎌倉時代に成立した軍記物語である。ある武家の一門の約五十年にわたる栄華と滅亡を描き、琵琶法師の語りによって広く民衆に親しまれた。

1 源氏物語

2 平家物語

3 竹取物語

4 伊勢物語

(キ) 次の俳句を説明したのとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

(著作権上の都合により省略)

飯田 龍太

- 1 新年をもうすぐ迎えようとする頃、激しく燃えさかっている火に子どもが照らされているのを見て、自分の幼かった時期への郷愁を感じている。
- 2 新年がいよいよ明けようとするその時、火を囲んで子どもがいきいきと笑う姿を見て、今年一年やり残したことへの寂しさを感じている。
- 3 新年をこれから迎えようとする頃、勢いよくたかかっている火が子どもを照らしているのを見て、やかな成長や未来への希望を感じ取っている。
- 4 新年が今まさに明けたその時、あかあかと燃えさかる火が子どもを照らしているのを見て、新しい年を迎えた一つの節目を感じ取っている。

問二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

「おばあちゃん(幸^{まき})」は、夜間中学に通い始めた。孫の「優菜^{ゆうな}」は、「おばあちゃん」の通学に毎日付き添っている。夜間中学の同じクラスには、「美織^{みおり}(ミオちゃん)」、「松本^{まつもと}さん」、「和真^{かずま}」がいる。今日の一時間目の授業は国語である。

(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(著作権上の都合により省略)

(山本^{やまもと} 悦子^{えつこ}「夜間中学へようこそ」から。一部表記を改めたところがある。)

(注) 蕾^{つぼみ} Ⅱ 「優菜」の友だち。 朋美^{ともみ} Ⅱ 「優菜」の友だち。

(ア) 線1 「おばあちゃんの肩は震え始めた。」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 今まで自分の名前の書き順を知らないまま過ごしてきたが、書き順には長い歴史に裏付けられた意味があると説明されたことで、学ぶことへの意欲をかき立てられたから。
- 2 今まで自分の名前も漢字で書けないまま過ごしてきたが、漢字にはいろいろな意味があると知ったことで、自分の考えを漢字で表現できることに喜びをかみしめていたから。
- 3 今まで自分の名前の意味を深く考えないまま生きてきたが、話し合いを通して意見を共有したことで、他の人の名前にも同じように親の思いがこめられていると悟ったから。

4 今まで自分の名前の意味を知らないまま生きてきたが、先生に意味を説明されたことで、幸せになってほしいという親の願いがこめられていることを初めて知ったから。

(イ) 線2 「すごい。先生、探偵みたい。」とあるが、そのように言ったときの「ミオちゃん」を説明したものとして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 「太一」という名前によって、「松本さん」は長男であると先生が言い当てたことに、思わず驚きの声を上げた。
- 2 「太一」という名前から、「松本さん」の兄弟も名前に数字がつくと先生が想像したこと、大変興味をもった。
- 3 「太一」という名前だけで、「松本さん」の実家が裕福であると先生が的中させたことに、不気味さを感じた。
- 4 「太一」という名前のおかげで、「松本さん」は豊かで大らかな人になったと先生が説明したことに、感動した。

(ウ) 線3 「ミオちゃんの表情がぱあっと明るくなった。」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 自分の名前の意味を誤解されて悲しく思ったが、先生の説明を聞いて、自分が教わってきた名前の由来を改めて確認できたから。
- 2 自分の名前の意味をけなされてがっかりしたが、先生の説明を聞いて、親の思いがこめられた大切な意味があると理解できたから。
- 3 自分の名前を忘れられて悔しかったが、先生の説明を聞いて、このことをきっかけにみんなが覚えてくれるだろうと安心したから。
- 4 自分の名前の深い意味に驚いたが、先生の説明を聞いて、名前にふさわしく美しい人生を送らなければならぬと決意したから。

- (エ) — 線4 「先生、その字、もう少し大きく書いてください。」とあるが、「おばあちゃん」がそのように先生に頼んだ理由を説明した次の文中の I・II に入れる語句として最も適するものを、I については六字で、II については二字で本文中からそれぞれ抜き出し、そのまま書きなさい。

おばあちゃんは以前から、I を II で書きたかったから。

- (オ) — 線5 「なんだかくすぐったい。」とあるが、「優菜」がそのように感じた理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
- 1 みんなに自分の名前の漢字を練習台として気安く書かれてしまったので、不愉快だったから。
 - 2 みんなが自分の名前の漢字を関心ある話題として取り上げてくれたので、うれしかったから。
 - 3 みんなが自分の名前の漢字をプリントにたくさん練習してくれたので、照れくさかったから。
 - 4 みんなに自分の名前の漢字を印刷されたプリントが配られたので、何とも気まずかったから。
- (カ) — 線6 「これからは、優菜を呼ぶときには、漢字で呼べる。」とあるが、ここでの「おばあちゃん」の気持ちをふまえて、この部分を朗読するとき、どのように読むのがよいか。最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
- 1 これまで、頭の中でひらがなで呼んでいた「優菜」の名前を、これからは漢字を思い浮かべて呼べるようになったうれしさをこめて読む。
 - 2 これまで、何となく漢字で聞いていた「優菜」の名前を、これからはひらがなの音感を大事にして聞けるようになった喜びをこめて読む。
 - 3 これまで、親戚への手紙にひらがなで書いていた「優菜」の名前を、これからはいつでも漢字で書けるようになった自信をこめて読む。
 - 4 これまで、漢字のもつ固い印象で話していた「優菜」の名前を、これからは漢字の意味もふまえて話せるようになった感動をこめて読む。
- (キ) — 線7 「おばあちゃんの手をぎゅっとにぎりしめた。」とあるが、そのときの「優菜」を説明したものと最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。
- 1 「おばあちゃん」についてあまりわかっていたことをごまかそうするとともに、これから「おばあちゃん」に甘えてしまおうと頼りにしている。
 - 2 「おばあちゃん」について目の前で見えることをよく観察するとともに、これからも「おばあちゃん」といっしょにがんばって勉強していこうとしている。
 - 3 「おばあちゃん」について今まで知ることのなかった一面に思いをはせるとともに、これからも「おばあちゃん」に寄り添っていこうと心を新たにしている。
 - 4 「おばあちゃん」について全く理解していなかったことを反省するとともに、これからも「おばあちゃん」から夜間中学での出来事を教わろうとしている。

問三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(著作権上の都合により省略)

(高槻成紀「タヌキ学入門」から。一部表記を改めたところがある。)

(著作権上の都合により省略)

(注) 群落Ⅱ群がって生えている植物。

営巢Ⅱ動物が巣を作ること。

キャンペーンⅡある特定の問題について広く社会に訴えること。

バイソンⅡウシ科バイソン属の野生のウシを総称したもの。

モニタリングⅡ観察や調査、分析をすること。

(ア) 線1「日本ではプラスの意味で神になった。」とあるが、その説明として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 オオカミは田んぼの米を荒らす大型獣を襲うことのできる唯一の動物であり、農民が敬意と謝意をもつようになったということ。

2 オオカミは人間にない能力をもつ恐ろしい動物であり、その力を封じるためにオイヌ様として祀られるようになったということ。

3 オオカミは田んぼの米を食べてしまうが、明治時代には人々の考え方が変わり、良い動物として意識されるようになったということ。

4 オオカミは邪悪な動物という印象が強いが、時を経ることで信仰の対象となり、偉大なる動物神と呼ばれるようになったということ。

(イ) 線2「この『快挙』」とあるが、その内容として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 自然を保護する国立公園において、人々の敵と見なされていたオオカミのイメージ回復に成功した
こと。

2 自然の管理をめざす国立公園で、農民の味方として受け入れられてきたオオカミの捕獲に成功した
こと。

3 自然を守る国立公園において、恐ろしい肉食獣であると考えられていたオオカミの撲滅に成功した
こと。

4 自然の姿を保っている国立公園で、個体数が減っているとみられていたオオカミの保護に成功した
こと。

(ウ) 線3「オオカミを復帰させる計画が動き出した。」とあるが、そのようなことが計画された理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 オオカミが撲滅されたことで、農作物を食い荒らす動物が増えただけでなく、農民の生活にも影響を及ぼすことがわかったから。

2 オオカミが撲滅されたことで、競争的な関係にあるコヨーテも減ってしまうなど、自然界に強い影響があることがわかったから。

3 オオカミが撲滅されたことで、川沿いの低木類がなくなっただけではなく、アカギツネの増加に影響を及ぼすことがわかったから。

4 オオカミが撲滅されたことで、動植物のあいだに連鎖的な影響が生じるなど、生態系全体に強い影響があることがわかったから。

(エ) 線4「同じロッキー山脈の文化をもつカナダのオオカミを導入することになった」とあるが、その理由として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

1 ロッキー山脈の文化をもつカナダのオオカミは、バイソンを襲う際に角で振り飛ばされ、前脚で突かれる危険があるから。

2 ロッキー山脈の文化をもつカナダのオオカミは、バイソンの行動を学んでおり、その行動を読み取ることができるから。

3 アメリカ国内の東部地方にいるオオカミは、本能的にバイソンの心理状態と行動を予測して、攻撃することができるから。

4 アメリカ国内の東部地方にいるオオカミは、進化の過程でバイソンの行動を学んでおり、戦いを避ける傾向があるから。

(オ) 線5「オオカミという動物に対する意識の変化」とあるが、それを説明した次の文中の

I II

抜き出し、そのまま書きなさい。

憎悪と I の対象であったオオカミが、 II の普及によって重要な動物として復帰が望まれるようになり、大の人気者になったということ。

(カ) 本文について、中学生のAさん、Bさん、Cさんの三人がグループで話し合いをした。次の文章は、そのときの一部である。話し合いの中の に入れるものとして最も適するものを、あとの1～4の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

Aさん アメリカでは、オオカミは悪魔と同一視されるほど、恐ろしい肉食獣のイメージをもたれていたんですね。

Bさん そのオオカミが、自然を守る国立公園において撲滅されていたということを知りませんでした。

Cさん 撲滅された結果、動物の数の増減をはじめとする自然環境に影響が出たことが、明らかにわたったわけです。

Aさん しかし、そのような影響があったとしても、人々の心に根付いた「恐ろしい肉食獣」が戻ってくるのは、市民にとって喜ばしいことではなかったと思います。

Bさん その市民の意識を変えるために総合的な戦略が立てられました。実際に復帰を実施するまでに長期間かかりましたが、オオカミ復帰を多くの人々が受け入れられるようになりました。

Cさん 私たちが動物に対して抱くイメージは、必ずしも絶対的ではないということがわかります。Aさん なるほど、人々の動物に対するイメージは ということですね。

- 1 生物学者の見解に左右されるとともに、常に目まぐるしく変化を続けていく
- 2 世界中のどの国でも共通しており、変わることなく今後も受け継がれていく
- 3 国民の人気を反映しており、動物園の年間入場者数の増減にも大きく影響する
- 4 生活している文化に影響されるとともに、動物の保全にも重要な意味を持つ

問四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

平沢何某(注)といふ士は、堪忍(注)つよき人にして、ある時、主用(注)ありて、人多く具して行きける道のほどにて、

二階より齒みがきをつかひて吐きたる唾の、あやまちで平沢が着せし上下へしたたかにかかりたれば、供人(注)

大いにいきどほり、その家に入り、唾を吐きかけたる者を引き出ださんとす。平沢とどめて、「しばし、

この家を借るべし。」とて、その家に入りて、(従者にかつがせてある箱から着替えの衣服を取り出して) 挾箱(注)より着替への上下を取り出だして着替へけるに、その

家のものども、大勢出でて侘びるにぞ。平沢申しけるは、「あやまちなるべし。(今度は気をつけたほうがよい) 重ねて心をつくべし。」と

て出で行きぬ。供人言ひけるは、「いかでそのままに許し置きたまへるぞ。」と言へば、「けふは大切な

主用なり。かかるささいのことに隙取るべきことにあらず。わが常に守れる堪忍は、このことなり。」と

言へり。

その後、また私用(注)ありて、その供人を引き連れ出でけるに、折しも夏のころ、溝(溝の汚れた水をまいていたが)のけがれ水を打ちける

が、平沢が袴(はかま)のすそを汚せり。またまた供人、大いにいきどほり、已(注)に打擲(うちうちやく)にも及ばんとせしを、押し

とどめて行きければ、供人申しけるは、「いふかひなきことにて候。」と言ふに、「左にはあらず。けふは

私用にて出でたり。私(わたくし)に人を罵(ののし)ること、士たる者の本意(ほんい)に違(たが)へり。ただ堪忍(かんにん)だにせば、世に恥辱(ちじよく)といふこ

とあるべからず。」と言はれしとぞ。

〔雲萍(うんひょう)雜誌〕から。

(注) 士 武士。

主用 主人に命じられた用事。

供人 供として従う人。

私用 個人的な用事。

打擲 打ちたたたくこと。

(ア) ~~~線部の主語として最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 平沢 2 供人 3 唾を吐きかけた者 4 その家のものども

(イ) ——線1「かかるささいのこと」とあるが、その内容を説明したものととして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 「平沢」の上下に、歯みがきをしていた人の唾がかかったこと。
- 2 「供人」がたいそう怒って、家をしばらく借りることにしたこと。
- 3 「唾を吐きかけたる者」が自分の行為を正当化して、怒り出したこと。
- 4 「その家のものども」が家から大勢出てきて、謝ってきたこと。

(ウ) ——線2「押しとどめて」とあるが、それを説明したものととして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 「平沢」の袴のすそを汚されたことで相手に着替えを要求しようとする「供人」に対し、「平沢」が私用で周りを使い立てするのは武士にふさわしくない行為と判断し、考えを改めさせようとしたこと。
- 2 「平沢」の袴のすそを汚されたことに腹を立てて相手を打ちたたこうとする「供人」に対し、「平沢」が私的な争いことは、けんか両成敗により罰せられるから辛抱するよう言い聞かせたということ。
- 3 「平沢」の袴のすそを汚されたことを責めようとする「供人」に対し、「平沢」が今日は私用での外出であり、個人的な感情で相手を非難するのは武士のあるべき姿ではないので制止したということ。
- 4 「平沢」の袴のすそを汚したと必死に謝ろうとする「供人」に対し、「平沢」が人の過失を責めることは常に寛容であるべき武士の精神に反することであると考えて、自分の怒りを隠そうとしたこと。

(エ) ——線3「ただ堪忍だにせば、世に恥辱といふことあるべからず。」とあるが、それを説明したものととして最も適するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 ただ己の欲のまま人目を引くような行動をしなければ、世間から非難を受けることもない。
- 2 ただ秘密を胸のうちに隠しさえすれば、誰も傷つけずに無駄な争いに発展することもない。
- 3 ただ不平や不満を口に出さなければ、我慢をしている己の思いに誰も気づくことはない。
- 4 ただ怒りをこらえて他人の過ちを許すことができるならば、名誉が傷つくことなどない。

(オ) 本文の内容と一致するものを次の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

- 1 「平沢」は、一時的な怒りにより思わず我を忘れてしまうこともあったが、相手の利益になることを常に考えて行動しようとした。
- 2 「平沢」は、主用や私用に関係なく身に降りかかってくる災難に対して、いかなるときも我慢することによって自分の道を貫いた。
- 3 「供人」は、主人の衣服が汚されたときに冷静さを装っていたが、不正を憎む思いから常に悪だくみを許さない姿勢をもっていた。
- 4 「供人」は、歯みがきで唾を吐いた人をかばって周りの人々をなだめるとともに、この不始末の責任は自分にあることを宣言した。

(問題は、これで終わりです。)